

■生産性向上や利益率向上等に焦点をあて、研究所や企業の建設ICTの取り組みを学びました。



建設企業と共に試行を重ねながら推進している「i-Construction」の現状について、具体的な施工事例を踏まえながら工事現場の生産性向上や効率化を図る方法を学びました。「ICT」は導入をすることが目的ではなく、目的達成するための一つのツールであるということ再確認しました。

- 1 日時 平成30年12月10日（月）
- 2 場所 高山市民文化会館 4階 4-7大会議室
（高山市昭和町1-188-1）
- 3 対象者 岐阜県内の土木・建設業の経営者、部長、課長、係長等
- 4 参加者 27社 41名
- 5 内容

時間	研修内容	講師
12:30～	受付開始	
13:00 ～14:00	好事例となったICT活用工事の施工計画 (途中休憩)	(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 主任研究員 八木橋 宏和 氏
14:15 ～15:15	Solution Linkage【モノ】+【コト】の提案からの協創 (途中休憩)	日立建機日本株式会社 ICTソリューション推進部 江島 講作 氏
15:30 ～16:30	道路土工におけるICT施工について ①「ICT活用工事」の施工実績について ②三次元設計データ作成の留意点について	株式会社 新井組 営業課長 稲越 崇 氏 技術課長 今村 修二 氏
16:30	アンケート記入、閉講	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（(公財)岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 4ユニット（認定講習）

8 研修状況



講師
（一社）日本建設機械施工協会
施工技術総合研究所 主任研究員 八木橋 宏和 氏



全国の施工事例より好事例となったICT活用工事や、現場の効率が向上する施工計画について具体的な工事事例を踏まえながら紹介頂きました。



講師
日立建機日本株式会社
ICTソリューション推進部 江島 講作 氏



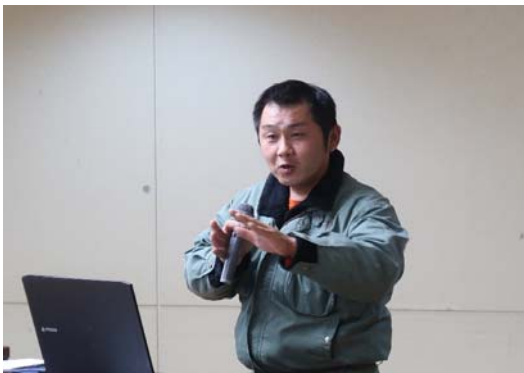
“Solution Linkage 【モノ】 + 【コト】 の提案からの協創”という講演タイトルの基、簡易に始められるICT活用事例を多数紹介頂きました。



講師
株式会社 新井組 営業課長 稲越 崇 氏



道路土工における「ICT活用工事」の施工実績について、使用したドローンやICT建設機械を具体的に紹介して頂き、活用事例を学びました。



講師
株式会社 新井組 技術課長 今村修二 氏



道路土工におけるICT施工について、三次元設計データ作成の留意点や、ICTを活用するのに好都合な現場条件について学びました。

9 受講者の感想

- ・施工総研の発表の中で、ダンプの配車のことなど具体的な施工計画の事例があり参考となった。
- ・現場の効率が上がる施工計画の重要性を再認識することができた。
- ・全国の先進の事例を見ることができたことが良かった。
- ・講演を聞いて実際の導入はまだ難しいと思った。
- ・日立建機日本が推進しているSolution Linkageが特に興味がわいた。
- ・新井組の実事例を踏まえた意見が印象に残っている。
- ・維持管理のICT技術の講習をして欲しい（橋梁のコンクリートのクラック補修の方法等）。
- ・ICT活用は労力の減少と、安全性の向上に有効だと改めて感じた。
- ・小規模工事でも有効活用できるようになればもっと普及が進むと思う。
- ・自身の現場で活かせるのであれば活かしたい。
- ・最先端技術の発表、講演が聞いて大変参考になりました。
- ・道路工事ではICT活用が有効ですが砂防工事等での活用事例を紹介して欲しい。

以上